

様式（第5関係）

会 議 録

会議の名称	第4回西東京市環境審議会
開催日時	平成14年11月8日（金） 午後7時00分から9時00分まで
場 所	西東京市防災センター6階 講座室2
出席者	（委員）金井委員、櫻井委員、清水委員、三木委員、網野委員 宇都宮委員、松永委員、和田委員、片山委員、鈴木委員、村松委員 金成委員、中村委員、柏谷委員、矢内委員、菊地委員、西川委員 （欠席）榎本委員、佐藤委員、松本委員 （事務局）大森部長、青柳課長補佐、中村主査
議 題	1．前回会議録の確認 2．環境基本計画答申素案骨子について 3．その他
会議資料	資料1 第4回審議会検討事項（アジェンダ） 資料1-2 西東京市環境基本計画の体系（案） 資料2 西東京市基本構想案（第一次素案） 資料3 西東京市まちづくり基本方針（抜粋） 資料4 西東京市一般廃棄物処理基本計画（抜粋）
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
矢内委員	<p>今回は骨子の案に近づけていくような議論を進めていきます。前は、何を取り組むべきかということをお皆さんに議論してもらい、そこからボトムアップして将来像にしていこうということをお意図しておいました。今回はそれらの意見をおもとにたたき台として将来像をお出しますおので、それに対してお皆さんの意見をおいただきおたいおと思っています。その将来像の検討をお1つめの議題としてお考えておいます。</p> <p>また、前は取り組みをお網羅的にお出してもらおいましたが、今回は西東京らしい踏み込んだ取り組みは何かということをお出してもらおうことも1つのテーマとしてお考えておいます。</p> <p>その他、時間に余裕があれば構成についても意見があればお出してください。</p> <p>次回の審議会は1月ということでしたが、1回ぐらい増やすことは可能だと事務局の方でもお考えておいるおとのことおです。増やしてもよいおのではないかとお考えておいます。</p> <p>では、資料の確認と補足説明について、資料作成をお支援されたコンサルタントの紹介もおふくめて青柳さんのおほうからお願おします。</p>
青柳 （環境保全課長補佐）	<p>では、資料について説明します。まず、資料の1-2がお皆さんの議論をおふまえながら、正副会長と検討した体系（案）ということになります。なお、この資料をつくるにあたっては、環境基本計画についてのお委託をお行っているブレック研究所の浦さんに支援をおいただきました。おご紹介します。</p>
浦	<p>環境基本計画策定における調査のお委託をお受けておいます、ブレック研究所の浦おです。</p>
青柳	<p>資料については1ページ目が体系となります。最初が課題、次が目標像をお示しておいます。将来像は大きく5つについてお示しておあり、1つめは交通</p>

や大気について、2つめは緑について、3つめはヒートアイランドと地球環境、4つめは循環型社会、5つめはそれらをふまえて環境学習などについて示しています。そしてそれをどう展開するのかというのが、基本方針と取り組みの方向性であり、それぞれについて市の施策や事業、市民や事業者の取り組みがついてきます。また、それをどう進めていくかというのがリーディングプロジェクトであり、今回は市民主導のものを示しています。

資料2は西東京市基本構想の案です。現在、基本構想の第1次素案が発表になっているところです。環境基本計画については、この基本構想との整合性も念頭に置きながら話をしてほしいと考えています。現在は第1次素案ということで、今後変わっていくこともあると思いますが、資料の図の基本的な将来像についてはこの方針で行くとのことでした。

資料3は西東京市まちづくり基本方針の抜粋です。このまちづくり基本方針は、旧2市の都市計画マスタープランをもとにしたもので、今後新しい都市計画マスタープランのもととなる方針となります。

資料4が一般廃棄物処理基本計画の抜粋です。

あと、資料番号をふっていませんが、総合計画の市民アンケートの抜粋がお手元にあると思います。第2回審議会の資料の中にその抜粋を載せていますが、基本構想担当から皆さんにぜひ読んでいただきたいので提供いたしますとのことでした。

あと、議事録について確認をお願いします。

#### (1) 議事録の確認

櫻井委員

前回の審議会で23区は屋上緑化が義務づけられているが、それ以外では義務づけられていないと発言しましたが、それは私の認識が違ったようなので、議事録については修正は不要ですが、内容について訂正したいと思います。

柏谷委員

櫻井委員の言われたとおりです。従来は20%を地上への緑化で賄わなければなりませんでした。今回の見直しによって屋上緑化、壁面緑化、ベランダへの緑化でもいいということになりました。そのため、地面が確保しにくい23区で屋上、壁面緑化が進んでいるということで、23区が義務づけということではありません。

#### (2) 環境基本計画答申素案骨子について

矢内委員

資料2が西東京市の基本構想です。この大きなフレームの中ですべての施策を進めるということになるので、この「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」というくだりについては意識して検討を行って下さい。ただ、次のページの文章についてはまだ変わっていくとのことでした。そこで、この最初のページの図が、イメージではありますが基本的に押さえておくべきこととなります。

事前に送付していた「骨子案への提案」については、事務局からは今日持ってきてほしいということでしたが、今日の発言のときの下資料として使ってください。

まず、計画の枠組みについて、環境ビジョンの内容からいきたいと思っています。また、リーディングプロジェクトの個別のアイデアから西東京市らしいポイントを出してはどうかとも思っています。この体系図で網

	<p>羅的には示されていますが、リーディングプロジェクトとしてどのようなものを特徴とするかということについての意見をいただきたいと思います。その特徴については、現状と課題から出てくるのではないかと考えています。</p>
菊地委員	<p>順番に一人ずつ発言してもらってはどうか。</p>
金井委員	<p>全体的な感想をいいますと、市の「基本構想」に似てきたように思います。住みよい町が環境のいい町だと思いますが、これでは「環境」も「まちづくり」に含まれてしまい、環境基本計画で扱うべき「環境問題」というテーマが薄れてきてしまっているように思います。もっと「環境問題」についてつっこんだ方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>リーディングプロジェクトでは、新聞を作ろう、リーダーを育てようなど、目に見えないソフト的なものが多く、実際目に見えて環境がよくなるような行動が無いのではないのでしょうか。また、地球温暖化にはまる項目が無いのではないのでしょうか。</p> <p>前回、レジ袋についての自分のこだわりを述べましたが、「ノーレジ袋」は「行動」としてはよいのではないかと考えています。ただ、レジ袋が実際になくなったとき、ゴミ出しに別にゴミ袋を買って出すようになれば、結果的に袋は減らないのではないのでしょうか。レジ袋を無くすことで、人々の環境意識は高まりますが、実際にごみを少なくすることには効果が薄いように思います。よいことをやるということはよいと思います。ただ、この会議では、「その次」も考えていく必要があると思います。</p>
矢内委員	<p>今の意見に補足します。リーディングとして自然環境などの調査をもっとやり、目に見える取り組みを進めるほうがよいのではないのでしょうか。環境モニタリングについても必要でしょう。また市民自身が、環境家計簿のように家庭でのごみの量が減っていくことが見えるようにしていくことが必要であり、それを全体としてチェックすることが必要なのではないのでしょうか。</p>
清水委員	<p>リーディングのマップづくりであるとか、プロジェクトの名前があまりアピールしないものになっていると思います。</p>
矢内委員	<p>リーディングプロジェクトについては、具体の行動をもっと描けるような名前にしていく必要があります。</p>
金井委員	<p>プロジェクトについて、名前はともかくとすれば、個々の活動としてはいいのではないのでしょうか。</p>
櫻井委員	<p>体系としては非常によくまとまっていると思います。しかし、リーディングプロジェクトのなかには、行政のやるべきことというものもあると思います。今回はあくまで市民がやることのみを載せているというように理解しています。当然行政としては別にあると考えています。</p> <p>今出ていることは、市民の側からするとおもしろいかなと思います。市民の関わりのあることを並べたのかなと思います。</p> <p>ただ、課題とか目標とかがしっかり押さえられていないといけなと思います。現在、西東京市の課題として「通過交通と生活交通が分かれている」というようになっていますが、それが果たして「課題」といえることなのではないのでしょうか。</p> <p>リーディングプロジェクトとしては付け加えたいものがあります。私は</p>

	<p>環境を考えるキーワードとしては、「緑を増やそう」、「ごみを減らそう」、「環境要素を保持しよう」の3つであり、その3つで環境は保たれると考えています。それを考えると、リーディングプロジェクトの中では「緑」についてのものが少ないと思います。</p> <p>里親については、街路樹だけでなく公園も大事ではないでしょうか。そこで、プロジェクトとしては、緑に囲まれて豊かに暮らそうということで、生け垣、記念樹、ガーデニングなど市民の活動を推進するようなものを加えてはどうでしょうか。</p> <p>昔は、いろんなことの記念に、庭に記念樹を植えました。そうしたやり方が受け入れられるなら、市が苗木を配布するというような制度があってもいいのではないのでしょうか。そうでもしないと緑は増えないと思います。公共も大切ですが、民間の樹木を増やしていかないといけないと思います。</p>
矢内委員	<p>リーディングプロジェクトを増やすこともありますが、逆にむしろ絞り込んでいく方向も考えられると思います。</p>
清水委員	<p>確認なのですが、このシートについては書いてくるのが宿題だったのでしょうか？</p>
矢内委員	<p>それは徹底していないところだったのですが、特に宿題というようには認識していませんでした。</p>
清水委員	<p>では、シートには書いていないのですが、意見を言います。私はこの体系で基本的にこれで7～8割方でできていると思います。細かいところにはまだ言いたいことがあります。</p> <p>まず、「リーディングプロジェクト」という言葉ですが、果たしてこれは市民権を得ている言葉なのでしょうか。そうでなければ、カタカナを使う場合は配慮が必要であり、極力日本語を使うべきではないかと思っています。</p> <p>内容については、現在8つほどあげられていますが、公園がありません。街路樹の里親のところ、街路樹だけでなく公園も、また守るだけでなく育成も盛り込んだ表現にしていく欲しいと思います。</p> <p>次に、環境新聞ですが、「市民がつくる」とすることで少し範囲が限定されてしまうと思います。なので、「環境情報を共有しよう」など幅広い表現にした方がよいと思います。また、「つくろう」だと作るだけでおわりになってしまうので、それが持続していく内容にしていく必要があります。</p> <p>取り組みの方向性について、「公害の防止」という表現がありますが、「公害」というのは企業が悪者だった時代の表現であり、「環境汚染の防止」というような表現にするほうがよいと思います。</p> <p>目標像のところ、「エネルギー」については、減らすというだけでなく、再生エネルギーなどプラス方向の要素がほしいところです。</p> <p>現状と課題については、光化学オキシダント、ヒートアイランドについてバックデータを用意してほしいところです。また、「ごみは他の市で処理処分」ということは、自分のところで処理すればいいのかという問題になってしまいます。処理をお願いしているならば、別の意味での協力があり得るのではないのでしょうか。</p>
矢内委員	<p>現状と課題については、地域環境「問題」というよりも、地域環境「特性」・「問題」というものにあたると思います。光化学オキシダントについては、カワムラタケシさんの論文では、この周辺が大気汚染物質の収束域になっているということです。「通過交通と生活交通」は特性の話で、そこ</p>

櫻井委員	<p>から環境を考えるヒントとして何かでないかということを考えています。そうした環境特性があって、それが地域の基本計画、行動に関わってくることとなります。そうしたものに基づけば計画で言うべきことが単に漠然とした環境配慮だけでないということが分かります。</p> <p>現状・課題はもっと丁寧に書いて欲しいと思います。生活交通や、ゴミの特性が目標に対してどのように関わってくるかということを書いて欲しいです。</p>
三木委員	<p>現状と課題では、ごみについて、西東京市では事業系の廃棄物が増えており、あまりごみが減っていないということが大きな問題です。</p> <p>農地・民有地については、そうした緑は相続で問題になってしまうということは分かるのですが、そうしたことをもっと丁寧に記述してください。</p> <p>リーディングプロジェクトについては、私はこの前、街路樹の木で道路を冷やすという話をしましたが、ぜひそれを入れてほしいと思います。また、「リーディングプロジェクト」だとわかりにくい言葉になるならば、できるだけ日本語で記述した方がよいと思います。</p> <p>また、リーディングプロジェクトについては、市民はどこで何をする、事業者はどこで何をする、そのときに市は何をしてくれるかなど、主体や場所など切り分ける必要があると思います。</p> <p>現在の内容についてはソフト的なものが多いと思います。それだけでなく、目に見えて環境が変わるようなものが必要です。そういったものと、長期的な視野に立ったソフト的なものを切り分けた方がよいと思います。</p> <p>また、市民との協働ということがあまり表現として出ていませんが、環境について活動されている市民団体があるので、環境新聞を作ることを委託して、協働で作っていくなどのことも必要だと思います。</p>
網野委員	<p>全体を見て気になるのが、目標像と基本方針です。ビジョンはわかりやすい言葉で示していてこれがベースになると思うが、同じだが少し違う内容で基本方針が重なっていて、そこがクリアーではないと思います。</p> <p>リーディングプロジェクトについて、ここでは市民の取り組みを代表として載せているが、市や事業者のリーディングプロジェクトを付け加えていくことが必要です。多摩市のものが参考になっていると思いますが、多摩市のものは大きく4つの柱があり、その中に細かい項目で19個のプロジェクトがあります。この体系だといまは8つだが、それを増やすとともに、いくつかの柱にまとめ直すことが必要なのではないでしょうか。</p> <p>また内容としては、ビオトープネットワークを作っていくことを入れて欲しいと思います。例えば、トンボがこういう経路でやってくるという調査を公団でもやっています。そうすると一つの自治体の中だけでなく、隣の市とも関わりが出てくるのが分かります。そうしたビオトープネットワークという考えを取り込んでほしいと思います。</p>
宇都宮委員	<p>体系で計画の全体が見えてよいと思います。私が必要だと思っている、水、緑、ごみ、エネルギーがすべて入っています。ただ、優先順位がはっきりと見えないかと思っています。私は将来像の中では、エネルギーとコスト、子どもから大人、その2つが優先順位として高いと思っています。数値目標は、市民1人あたりを数値の指標として出して、それを多摩の中で一番少ないとか、多くとかの目標にしてはどうでしょうか。</p> <p>また、市民団体の活動を市でサポートするために「(仮称)環境市民クラブ」をつくりサポートしてやっていくことが必要だと思います。また、レジ袋はごみの総量の中では多いと思うので、私自身はレジ袋はなくしてい</p>

	<p>こうということを、西東京市でも考えていくのはいいことだと思います。また、ごみ減量に向けては有料化についても施策として提案してはどうでしょうか。</p> <p>エネルギー、ごみについて、市民がやることとしては、ポイ捨て禁止がないが、それをいれたらいいのではないのでしょうか。</p> <p>また、リーディングプロジェクトの優先順位を考えると、ごみとか、環境学習とかが上位に来るのではないのでしょうか。</p>
<p>松永委員</p>	<p>この体系については、具体的でわかりやすくいいのだが、逆に具体的すぎて戸惑った所もあります。これからは各主体の取り組みを体系的に示していくことが必要になると思います。</p> <p>リーディングプロジェクトについては、プロジェクトの方向性はこれでいいと思うが、市民だけでなく各主体の取り組みとして何が必要かなど、アイデアから入っていく方がいいのではないのでしょうか。</p>
<p>和田委員</p>	<p>全体としてまとまっていると思います。私が述べていた緑も入っています。目標像についてもごみを減らしていくこと、再利用することそれを網羅することがいいことだと思います。</p> <p>私は負荷と便利さはうらはらの関係にあると思います。レジ袋は便利であり、それについては言及されていますが、車も同じように便利なものです。でもそれをいくらか制限していくようにしないと負荷はなくなるのではないのでしょうか。そうしたものを理解した上での取り組みが必要だと思います。</p>
<p>片山委員</p>	<p>リーディングプロジェクトについて、「市民がやること」と縛りができてしまうのは怖いと思います。ただ、市民の意識が大事であるので、そうしたものを前面に出すようにする必要があると思います。そのため、新聞やリーダー育成が大事だと思います。また、水質モニタリング、生き物調査など市民参加のモニタリングが効果があるのではないかと思います。</p> <p>取り組みの方向性に示されていることの中から、リーディングプロジェクトに対して、市とか事業者とかがどういうことをするのかということを示していくことが必要です。また効果が目に見える形で表されるのはよいことだと思います。</p> <p>市民の取り組みからは離れますが、地下水の保全とか雨水浸透とかも大切です。それは市の政策に入ることになります。その意識を高めるための行動が必要です。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>現状と課題について。ゴミは他の市にということが課題かどうかということで意見がありましたが、他の市と合同でも他の市で処理しているということについての市民の認識は必要なので、注釈をつけて示して欲しいと思います。また、生活道路と幹線道路については、生活道路については歩道がほとんどなく、歩けるところもないのが現状です。</p> <p>また、リーディングプロジェクトについては、食べて残そうということで、実の生る木が街路樹にあるというのはよいのではないのでしょうか。</p> <p>大気汚染の調査を、学校とか、公共施設各所でやって、状況がどのように変化していくかというモニタリングをやっていくような、体験して実践してやっていくというものがよいのではないのでしょうか。</p> <p>水は深井戸から水をあげて親水公園に使ってはどうか。井戸は使わないと枯れてしまうらしいです。</p> <p>また、誰がやるのかという主体を明確にし、計画を推進することが大事です。以前私は緑化審議会委員だったのですが、保存樹木を切ってよいかどうかという審議のときに、「ここで切ってはダメと答申したときにどう</p>

村松委員	<p>なるのですか」と聞いたら、やはり切られてしまうというようなやりとりがありました。緑を守るのにもお金が掛かります。そのために市はどれだけ予算があるのでしょうか。最終的には市の役割はお金を出すことです。</p> <p>そのようなこともあり、計画の推進というところに力を入れてほしいと思います。</p> <p>リーディングプロジェクトの期間は5年間ですが、この計画は10年間なので、リーディングプロジェクトが終わった後の5年間はどのようにするのでしょうか。</p> <p>リーディングプロジェクトの内容自体の方向性はよいと思います。ただ、西東京市でシンボルとなる象徴的なものを入れたいと思います。例えば合併記念公園にコミュニティーガーデンをつくらうとか。</p> <p>あと、グリーンコンシューマー（グリーンの消費者）になろう、お金がかかっても省エネ性能の高いものを買おうという取り組みも必要です。</p>
金成委員	<p>全体をみて、ごみの方の重みが弱いというのが感想です。基本方針のところに「循環型社会を目指して」ということを入れておいたほうがよいのではないのでしょうか。</p> <p>環境に配慮したライフスタイルという観点も必要です。そうでなければごみを減らせば何をしてもいいかということになってしまいます。</p> <p>どんなことをしてもごみはなくなるには思いますが、焼却など処理の方法とかりサイクルの方法とは問われることになります。現在、西東京市では、その他プラスチックについて、容器包装リサイクル法に従わない処理を行っています。それはまずいのではないかと思います。</p> <p>ゴミのところを、循環型社会を目指すように、強調してほしいと思います。</p>
中村委員	<p>課題については逼迫感が足りないのではないのでしょうか。大気汚染は大きな課題です。それをもっと強調して欲しいです。農地、屋敷林など民有地の緑が減っていくことは大きな問題ですが、それだけでなく東大演習農場に依存しているなど、本市の緑は農地、民有地だけの問題ではありません。一人当たりの公園面積が少ないことを数値的にとらえて、農地・屋敷林・東大農場に示されるような現状の緑を確保していくというものが必要なのではないのでしょうか。そうした数値的なものが今はありません。</p> <p>また、リーディングプロジェクトについても、今は市民にやってもらうことばかりです。これは認識が甘いと思います。もっと数値目標をたてて、市が主導してやっていき、事業者、市民も協力もするというものを入れていく必要があります。</p>
柏谷委員	<p>計画の役割を明確にした方がよいと思います。体系の枠組みは意見をふまえて流れてとしてできています。ただ、あえて言わせてもらおうと、現状と課題で、西東京市の環境課題をどのように認識するかが大きなテーマになると思います。東京都では、危機であるというあり方をしています。そこには、知事のスピード感を持ってという意向もありましたが。そういうこともあり、課題の書き方をどのようにするかということは審議会で検討しておいた方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>目標は、数値目標をできるだけ表すことが必要だと思います。それによって、それぞれの主体の責任が明確にされていくことになります。</p> <p>リーディングは市民の方々にやってほしいということ意識していると思いますが、それよりも市はこういうことをやっていきますということを示すのが本筋だと思います。</p>

菊地委員

なお、今都でやっているモニタリングなどは、基礎自治体の役割だと考えています。そこで、こういう機会に精度の高いモニタリングという考えを打ち出してほしいと思っています。

都としては、今後は環境教育や学習は、基礎自治体がやってほしいということを考えています。

また、緑地保全地域の主体をどのようにするかについては、市民のボランティアでやっていただければということを考えています。

省エネ、ヒートアイランドについては、環境確保条例を都条例で定めています。もっと事業者によっていくように、規制を強めるという方向で進んでいます。それに連携した取り組みを市の方で考えていただければと考えます。

リーディングプロジェクトに限って意見を述べます。私は村松さんのように西東京独自のものを入れる必要があると思います。それが市民の誇りを喚起すると思います。具体的なものとしては、武蔵野女子大のほうで市内の小学校の補助員を募集したら結構集まったということ聞いています。環境リーダーの面で、市と大学の連携をしてはどうでしょうか。

緑については、現在でも緑化相談とかは行っていると思いますが、緑化相談とか庭木の手入れの巡回サービスなどはどうでしょうか。

これは一つの例ですが、京都で自転車タクシーというものがあり、NPOがやっているそうです。環境市民団体を環境NPOにして、例えば、保谷庁舎と田無庁舎の間を人力で運んでいく。それは西東京市で独自のものであり、また目に見えてわかる取り組みなのではないでしょうか。

市民や事業者の取り組みとしては、環境NPOになっていくことがあると思います。

先日、NHKでやっていたのですが、ピッツバーグなどではすでにNPOから市への施策提案が進められています。西東京市でもそれが他市に先駆けした取り組みになっていくと思います。

また、広報西東京に廃棄物審議会の答申が出ていて、その中にレジ袋とかりサイクルプラザとかの内容が示されています。そのようにごみ問題についてはごみ減量推進審議会でも検討されており、さらにやる必要があるのかどうか疑問です。

また、カタカナ言葉について、新宿区ではごみ減量として「10のRでごみ減量」ということ言っていますが、お年寄りの中には3Rでも受け入れられない人もいます。ここまでいってしまうと単なる言葉遊びだと思います。行き過ぎではないでしょうか。

櫻井委員

一般市民は、リサイクルのなかに、リユースも含めて考えているように思います。

西川委員

リーディングプロジェクトについて、行政が主体のものが入っていません。市独自でやれることはあるのだから、そういうものをどんどん書いていくべきです。

また、順番として環境マップが一番上にあるというのはいかなるものでしょうか。深刻な環境問題の中で、そうしたものはもっと下で、上に来るのは市がやるべきことだと思います。

矢内委員

ポイントとしては、まずリーディングプロジェクトについては：

- ・主体を明確にすること：リーディングのなかに各主体の役割が出てくる。行政でやるべき部分、支援する部分がある。主体としてはNPOなどもある。

	<p>・タイムスケジュール があると思います。 現状・課題のトーンをどうすべきかは、次回検討するべきでしょう。また、現状、課題については具体的に整理していくことが必要です。 目標像、基本方針については、基本方針の中に包含させて示します。数値目標と区別したいと思います。 リーディングの新しい項目としては高密度の観測、モニタリングを考えて行くべきです。そのほかプロジェクトごとの細目もあります。 宿題としては、行政や事業者にどのように支援や役割をになってもらえるようになるかですが、それは会長・副会長・事務局の方で考えておきたいと思います。</p>
櫻井委員	<p>この資料の2ページ以降が大切になると思います。リーディングプロジェクトだけでなく、行政が主体になってやるものは何であるか。大気汚染にしても、市民サイドでやれないこともあります。街路樹とか、そうしたものも必要なのだが、ここには示されています。</p>
矢内委員	<p>そうした各主体がどうするというのは、取り組みの方向性の中に示されることになりませんが、それを次回示すようにします。</p>
三木委員	<p>検討シートはいつまでに、どうやって提出すればよいでしょうか。</p>
矢内委員	<p>この議論を踏まえて、内容を精査して、事務局の方に FAX なりでもらえればと思います。期限としては来週をめぐりよろしくお願いいたします。 次回は1月にしたいと思いますが、できれば1, 2月に追加で1回実施したいと思います。 活発な議論をありがとうございました。</p>

以上